



【 鈴木 茂 プロフィール 】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校 PTA 会長。
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。

【 現在 】

- ・上尾市議会議員
- 文教経済常任委員会・議会運営委員会・議会報員会(委員長)
- 上尾市民クラブ所属
- ・(学)浅間台幼稚園園長
- ・(社)特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長代理

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3
TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさん今日は、上尾市議会議員 鈴木 茂です。私は、議会運営委員会と文教経済常任委員会に所属しております。4月19日～20日に議会運営委員会の視察が5月7日～9日に文教経済常任委員会の視察がありましたのでその視察の報告をさせていただきます。

議会運営委員会視察報告（4月19日～20日）

◎ 岩手県花巻市議会視察（4月19日）

議会運営委員会の視察目的は、議会改革の先進地を訪問しその改革内容を把握し上尾市議会の議会改革に取り入れるためです。

花巻市議会は平成22年6月に議会基本条例を制定しました。平成18年に調査研究が始まり4年以上の年月をかけての基本条例の制定でした。

花巻市議会基本条例の主な内容は以下の通りです。

・第9条 議会報告会

議会の活動について説明し、市民の意見を広く聴くための議会報告会を開催することを定めています。

・第11条 一問一答、反問権

本会議や委員会での質疑応答は、論点・争点が明確になる一問一答方式で行うことができる。これまで会議では議員は「質問する人」市長等は「答える人」でしたが、市長等に議員に対して逆に質問などをすることができることとしました。

・第15条 計画等の議決

市民の生活に大きな影響がある計画等について議会でも議論し策定に関わったり、変更したりすることができることを決めました。

・第16条 自由討議による合意形成

これまで本会議や委員会においての話し合いは、市長等への質問が中心で、議員同士の話し合いがされてきませんでした。そこで合意に向けた議論を公開し、責任ある表決と市民への説明を行うために、議員間で自由に議論する機会を多く設けることとしています。

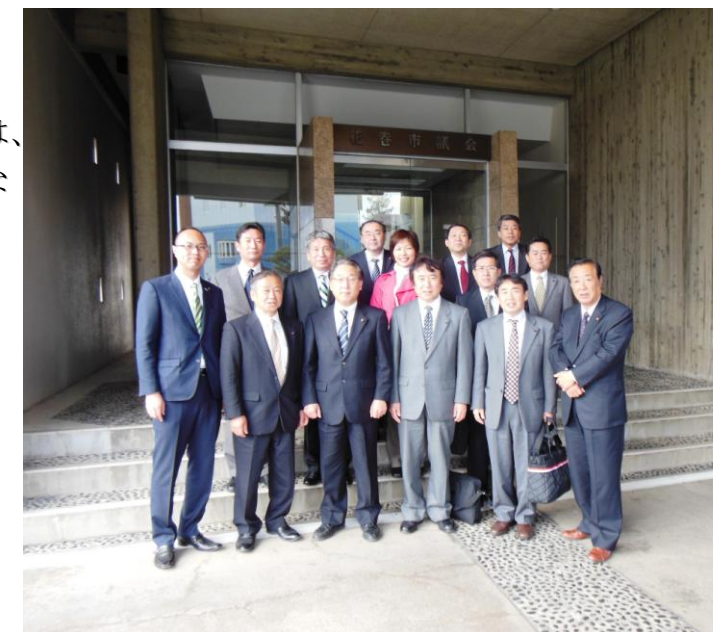
第2項では、議員の間で話し合いを行って、積極的に政策等を提案していくよう努力することとしています。

・第17条 議員全員協議会

本会議や委員会で話し合うことができるのは、議案に限られていますが、それ以外の大切な課題や問題について、議員全員で話し合うために議員全員協議会を開催することとしています。

花巻市議会視察を終えて

- ★ 花巻市議会の基本条例は素晴らしい内容でした。ただ第15条の計画等の議決や第16条の自由討議は、条例は作られました但实际上には実施はまだの様でした。実際に機能してからの状況も後日知りたと思いました。



花巻市議会議場前にて、議会運営委員会所属委員・正副議長・議会事務局と供に

◎ 宮城県大崎市議会視察（4月20日）

大崎市議会ではこの4月に大崎市議会基本条例（案）が作成されました。内容は花巻市議会基本条例同様「自由討議」を取り入れた素晴らしい内容でした。ただまだ（案）の段階なので実際に機能するかは、これからだと思いました。

大崎市は平成18年3月に古川市や鳴子町等の1市6町の合併により誕生しました。東西80km、面積796.76km²（上尾市45.55km²）の広大な街で市の運営は大変だろうと感じました。その中で議会報告会を実施されているのは素晴らしいと思いました。

また、平成23年度には一般会計予算を修正可決していました。度々修正可決をしているとの事、議会の意義を改めて実感しました。

議会運営委員会議会視察を終えて

- ★ 上尾市議会議員1期生で議会運営委員会に属しているのは、鈴木 茂 一人だけです。上尾市議会1期生なので、実質1回しか議会を経験していません。その1回の議会の中では、議員同士

の討論は殆ど無いように感じられました。上尾市議会もただ単に賛成・反対の表決をする前にもっと議員同士が「自由討議」行って「議会としての意思」を統一するのは無理でもどこに問題があるのか、無いのか等を浮き彫りにしてから表決をした方が良いのではと思いました。

また、花巻市議会視察と聞いて夜は花巻温泉宿泊かと思っていましたが、花巻駅前のビジネスホテルでした。名ばかりの視察で実際は温泉旅行と思っている市民の方も多いと思いますが本当に質素な県外視察でした。昔は実際温泉旅行だったようですが（今でもそのような市もあるかも知れませんが）上尾市に於いては過去の事だと分かりました。

文教経済常任委員会行政視察(5月7日～9日)

◎ 愛知県東海市行政視察(5月7日)

「東海市産業振興ビジョンについて」

上尾市でも本年度488万円をかけて「上尾市産業振興ビジョン」作成する予定です。そこで上尾市の環境経済部長と共に振興ビジョンが策定されている東海市を訪ねました。

東海市では平成22年から策定に係り平成23年3月に作成されました。ご案内の通り東海市は鉄鋼の街です。鉄鋼産業が盛んなうちに、新たな産業の芽を育成する事を主眼に於いて計画されました。23年から3年毎の計画が第1次実行計画から第4次実行計画まで作られていました。ただ、残念な事に計画は作られていましたが、実際の計画の具体的なイメージが見えない事、担当者にもその点を質問しましたが答えられませんでした。

◎ 三重県亀山市行政視察(5月8日)

「新教育指導要領に伴う授業の電子化について」

上尾市でも本年度予算で小学校電子黒板整備事業に396万円、中学校電子黒板整備事業に1,320万円が計上されています。そこでシャープの亀山工場があってIT戦略計画のある亀山市の小中学校でどのように電子黒板等が利用されているのか上尾市学校教育部長と共に授業を見学してきました。

これからは益々ITを利用した授業が進んでいくのだろうと実感しました。ただ、全ての教員がITに詳しいわけではないので(特に私のような年配者には)それが負担にならないか、IT機器に精通した職員とそうでない職員との差が開きすぎて子ども達への不公平感が生まれないか心配になりました。授業の教材として誰もが使えるようなマニュアル化する必要性を感じました。

また、中学校の理科の授業で電子黒板を利用して実験を映像で紹介していましたが、同席していた上尾市の学校教育部長が「あれは映像ではなく実際に子ども達に実験させるべきだ」との感想を漏らしていました。やはりバーチャルだけではなく実体験が必要だと感じました。ITと実体験とのバランスが大切だと思いました。

尚、学校視察後有名な亀山のシャープのテレビ工場にバスで行きました。中には入れませんでしたが2Km四方の広大な敷地に工場が2つありました。残念ながら第一工場は操業していないとの事でした。多額の補助金を使って誘致したシャープの工場ですが撤退の可能性が取りざたされていて市の関係者もとても心配していました。またIT戦略計画にはシャープの地域情報化アドバイザー委員会への参加が書かれていましたが実際には行われていないとの事でした。



亀山市立幼稚園にて、文教経済常任委員・議長・議会事務局と共に

◎ 静岡市行政視察(5月9日)

「静岡市産業振興プランについて」

政令指定都市静岡市の産業振興プランについて視察して来ました。さすが政令指定都市と感じる60ページに及ぶ立派な産業振興プランの冊子が作られていました。起業者支援のための静岡産学交流センターに1億1千7百万円、静岡クリエイター支援センターに5千3百万円など内容も財政的にも充実したものでした。静岡市の場合、観光、歴史、産業、産学連携できる大学等上尾とは比較にならない点が多くあります。ただ、廃校になった市中心部の小学校を利用して起業家に教室を貸して支援している点は上尾市でも参考になると感じました。

文教経済常任委員会視察を終えて

- ★ 2箇所の産業振興ビジョン作成の視察をしての感想は、上尾市の産業を振興させる必要性は当然あります。そのためのビジョン作成も大切かもしれませんが、ただそれが企画会社によるパンフレット作成では、どんな立派な冊子ができてあまり意味がないと感じました。また、プラン策定後定期的に見直す事が大切だと感じました。

視察は上尾市と同程度の規模の都市が施策が成功している街を視察する必要性を感じました。視察先を選ぶのが難しいと感じました。

鈴木 茂 初の上尾市議会一般質問は6月13日(水)

3:30～4:30です。

ご都合の良い方は傍聴にお出で下さい。傍聴席は上尾市役所議会棟5階です。内容は、子育て支援・教育支援・浅間台地区側溝整備の進捗状況の3本を予定しております。上尾市6月議会は6月6日(水)開会、6月22日(金)閉会予定です。